

## 平成26年度第5回定例社会教育委員会議事録（議事要旨）

1 開催日時 平成27年2月19日（木）午後2時～4時

2 開催場所 中央図書館 2階 視聴覚室

3 出席者

（委員）

舟田委員長、松木副委員長、大塚委員、長友委員、淵野委員、松浦委員  
大田委員、朱膳寺委員

（事務局）

生涯学習部長、生涯学習部次長、生涯学習部次長（事務取扱）青少年センター所長、生涯学習課長、郷土博物館長、市民スポーツ課長、運動公園スポーツ施設整備課長、高洲公民館長、富岡公民館長、美浜公民館長、当代島公民館長、日の出公民館長、中央図書館長、生涯学習係

4 傍聴人 0人

5 議題

（1）協議事項

- 1）社会教育関係団体の認定について（4件）
- 2）社会教育関係団体への支援のあり方について

（2）報告事項

- 1）社会教育関係団体の解散の報告について
- 2）平成26年度第34回美術展の開催結果について
- 3）平成26年度うらやすこども大学開催結果について
- 4）第24回市民演奏会開催結果について
- 5）平成26年度浦安市成人式の開催結果について
- 6）うらやす文化市場～きて！見て！体験！～開催結果について
- 7）第24回東京ベイ浦安シティマラソンの開催結果について

（3）その他

- 1）次回会議日程について

6 議事概要及び会議経過

（1）協議事項

- 1）社会教育関係団体の認定について（4件）

生涯学習課長よりそれぞれの団体の概要を説明し、ブルースカイ、あけぼの俳句会は認定を承認し、ルミバレエ、中国水墨画蘭の会は保留となった。

委員からの主な質問及び意見は、次のとおり。

《ルミバレエ》

（委員） 会員数が56名であるが、会員の年齢は把握しているのか。また、役員は全員成人なのか。

（事務局） 会員の年齢については、把握していない。役員については保護者を中心として全員成人である。

（委員） 予算の中で会場使用料は認定されると大部分が必要なくなるため、

その分の支出は会費を安くするなどしていただき、余ったお金が講師料の増額にならないようにしていただきたい。

- (委員) 現在、認定されているバレエ団体は、何団体あるのか。
- (事務局) 9団体である。
- (委員) 認定されている社会教育関係団体の、ジャンル別の表があると認定を行う際に、団体の位置づけがわかるのであるとよい。
- (事務局) 認定団体のデータはあるので資料を用意することは可能である。
- (事務局) このサークルに関して公民館で調べたところ、他の名称で同じ代表者の登録があった。また、講師についても他の公民館でサークルの代表者として活動している。
- (委員) 講師の方が公民館という場所を使って、生計を立てている可能性が考えられる。
- (委員) 場所を確保するために、同じ団体が違う名称を使っている可能性もある。
- (事務局) 公民館をとおして実態を調べる。
- (委員長) 改めて実態を調べていただくこととし、今回は保留とする。

《ブルースカイ》、《あけぼの俳句会》

- (委員長) 特に問題がないので承認とする。

《中国水墨画蘭の会》

- (委員) 講師の謝礼金の支払い方が一定の金額に1回あたりの参加者数を掛けた額を支払っているが、1回あたりの金額を定め団体の会計から支払われるかたちのほうが妥当である。
- (事務局) このかたちであると、会員個人が講師に謝礼金を支払っていることになるので、その点は改善してもらうよう伝える。
- (委員長) 指摘のあった点を団体に伝えることとし、今回は保留とする。

## 2) 社会教育関係団体への支援のあり方について

生涯学習係より前回の議論の概要を説明した。

委員からの意見は、次のとおり。

- (委員長) 社会教育関係団体への支援のあり方について、前回から議論している。前は「理想の社会教育関係団体とは」というテーマで議論をした。その中で、地域で活動したいと思っている一方で、活動する場がないと感じている団体があるという意見があった。活動する場の提供は、今回のテーマを考えるうえでキーとなる点でないかと思う。このことも含めて、今回はより議論を深めていきたい。
- (委員) 公民館の活動に加え、学校支援コーディネーターとして活動しているが、公民館で活動していることから、地域で活動したいと思っている団体を学校に紹介ができる。公民館で活動していないコーディネーターは、なかなかそういった団体を知ることができないため、生涯学習課や公民館から社会教育関係団体の情報を得られると良い。
- (委員) 小・中学校で水墨画を教える取り組みがある。教職員の中に水墨

- 画を教えられる人がいれば良いが、いない場合は他に頼むことになる。その際に、生涯学習課に連絡して社会教育関係団体を紹介してもらうなどのシステムがあると良いのではないかと思う。
- (委員長) 生涯学習課で毎年行っている認定している社会教育団体への現状調査の際に、各団体へ地域でどのような活動をしたいかの希望を聞くのも良いのではないか。
- (委員) 婦人の会は老人クラブや自治会をとおして、子どもたちに昔遊びなどを教える活動をしている。
- (事務局) 博物館では、子ども会などから昔遊びを子どもたちに教えてほしいという問い合わせがある。その際、博物館に個人登録している、もやいの会の会員の中から依頼内容に合った人材を紹介している。
- (委員長) 社会教育関係団体を支援するうえで、学習成果を地域で活用することが求められているが、地域からの要望と団体を結びつけるためのコーディネーターが必要である。地域の人はどういう団体なのかを知らないと、依頼しづらいという課題がある。
- (事務局) 学校支援コーディネーターについては、年に数回研修会があり、そこには教員や公民館職員も出席している。その中で、学校が必要としていること等について情報共有を行い、地域の人材を知っている公民館がコーディネーターを介して学校の要望に合った人材を紹介するという取り組みがある。また、生涯学習課で「まなびねっとURAYASU」というインターネット上のシステムを運営しており、登録団体が活動内容等について紹介をしている。学校支援コーディネーターや地域の方は、そこから自分たちの希望に合った人材や団体を検索して探すことができる。
- (委員) 地域で良い取り組みをしている団体を表彰したり、インターネットで紹介するなど、モデルケースとなる社会教育関係団体を発信することで、他の団体にも活動が広がっていくのではないかと思う。
- (委員) 学校において、地域の人や団体にお願いできることはどうしても花の手入れや交通安全に関わることなどの取り組みに限られてしまう。授業の支援をお願いすることになると、なかなか学校側の要望と団体が教える内容がうまくマッチングしていない。そこをうまくマッチさせることができれば良い。
- (委員長) そういう意味では、情報を発信していくことが重要である。社会教育関係団体の情報を発信していくことが、団体の支援に繋がっていくことになる。
- (委員) 学校における活動は少しハードルが高いと思うが、例えば美術系のサークルが市美術展の運営を手伝うなど、市や地域の活動に参加し自分たちの活動を活かすということでも、地域貢献の一つになるのではないか。
- (委員) 問題は認定されているのにもかかわらず、自分たちの活動だけをしている団体である。公民館文化祭などにおいて、少しでも協力してもらうようお願いするなど、団体の活動の拠点となる公民館が団体に指導していくことが求められる。
- (委員) 認定されると公民館等の施設使用料が減免になる等、優遇措置が受けられる対価として地域貢献という視点はやはり必要である。そういった視点が無い団体をどうしていくかを考える必要がある。

- (委員) 認定団体への現況調査の際に、これまで地域で活動してきた実績とこれから地域でどのような活動したいかについても内容に入れることで、団体側は地域活動を意識することになると思う。また、良い取り組みをピックアップできる。その取り組みを紹介していくと他の団体にも広がっていく。
- (委員長) 今回は、社会教育関係団体への具体的な支援について皆さんに意見を出してもらった。次回も引き続き話し合い、議論を深めていきたい。

## (2) 報告事項

- 1) 社会教育関係団体の解散の報告について  
生涯学習課長より解散の報告のあった団体の概要を説明した。
- 2) 平成26年度第34回美術展の開催結果について
- 3) 平成26年度うらやすこども大学開催結果について  
(委員) このような活動を浦安独自の社会教育活動として発展していただきたい。
- 4) 第24回市民演奏会開催結果について  
(委員) とても素晴らしい演奏会であった。船橋市で「千人の音楽祭」という事業がある。この事業は、今年で22回目となるが子どもを主体として音楽活動をしている人が一堂に会する事業であり、浦安市にもこのような事業があると良い。
- 5) 平成26年度浦安市成人式の開催結果について  
(委員) 新成人への市からの配付物について、実行委員の意見等により削減したとあるが、市の行事であるので新成人への選挙等の啓発は必要である。  
(事務局) 検討する。
- 6) うらやす文化市場～きて！見て！体験！～開催結果について  
(委員) 市の他の行事と開催日が重なったとあるが、事前に日程調整はできなかったのか。  
(事務局) あらかじめ開催日が決まっていたので、日程調整が難しかった。来年度以降は調整していきたい。
- 7) 第24回東京ベイ浦安シティマラソンの開催結果について  
(委員) 現在、多くの自治体が町おこしの一環でマラソン大会を開催している。是非、ハーフマラソンの実現を含めて浦安が有名になる大会を今後も開催していただきたい。

## (3) その他

- 1) 次回会議日程について  
次回の会議は、平成27年4月16日（木）午後2時から中央図書館視聴覚室で開催を予定している。

以上